

早いものでもう年末となりました。8月から12月は草刈、防除と10回くらい畑に行きました。9月くらいまでは草もよく伸びたのですが、さすがに10月に入ると草も伸びが止まり、ぶどうの葉も赤くなってきました。植えたぶどうの苗木173本中、1本は草刈中に誤って根元から寸断してしまいましたが、172本は、育ち具合は異なれど、ほぼ順調に育っております。12月2日は越冬のための稲わら巻きを行いました。これが今年最後の作業となります。来年の作業は3月頃の剪定から始まります。



★紹介が遅れました。写真は畑を使用させていただいています児玉様の分宅「児玉家住宅」の土蔵です。明治のころ造られたそうで、十二棟からなる建物全部は国登録有形文化財となっています。冬の間は閉められていますが、他の季節は門が開けてあり見学が可能です。所有者児玉様（二代目）

は90歳を超えていますが、今もここに居住していて、建物の管理と案内をしています。私が畑のお世話をいただいている児玉様はこの所有者様の長男です。

※畑は、児玉家住宅左の道を50メートルほど行った左側にあります。



★左の写真は、農機具を収めてある物置です。畑はこの右側にあります。立てかけてあるのが草刈り機、その手前が耕運機です。10月21日の写真です。まだ、草木は青あおとしています。右に積んであるのがこれから畑に入れる堆肥袋の一部です。一袋20キロあります。畑に運んでいるところです

★11月9日、北海道の奥村様（右）、山口の濱田様（中）と軽井沢72で1ラウンドした後、畑に来ました。お二人に手伝っていただき、先日用意した堆肥を一時間ほど掛けて蒔きました。※後ろに見えるぶどうの木はほとんど枯れ落ちています。





★12月2日 越冬のためのワラ巻きをしました。

細く見えるぶどうの枝にはもう一枚の葉も付いていません。巻かれている稲ワラは半分に切ってるので高さは40センチほどです。

先日降った雪、軽井沢ではまだ残っていましたが、ここでは降らなかったのか雪はありませんでした。このあたりは標高が650メートルで軽井沢より250メートルほど低いからかもしれません。特に今日は太陽が差していて作業をしているときは汗ばむ程です。さすが3時位になると、太陽が陰ってきて寒くなってきましたが・・・



左のような感じでワラを巻いて、麻紐で2ヶ所を縛ります。

★これで今年の農作業は終わりです。作業、といっても3月からの10ヶ月間で30日間ほどでした。が、結構腰に来ました。草刈が一番きつかったです。このあとは少し腰を休めて来年に備えます。

来年の作業は3月ごろの剪定から始まります。ぶどうの木も大きくなれば草刈もそれほどしなくても良くなるそうです。来年はそこそこ実を付けるようですが、それは全て捨てます。うまく育てば、3年目は単独ぶどうではありませんがワインにすることも可能と聞いています。お楽しみにしてください。今年はいいお世話になりました。来年もよろしく願いいたします。皆様良いお年をお迎えください。